

大規模治験ネットワークの構築等

アクションプラン

3年間で、10の疾患群ごとに、ネットワーク事務局を中心に、複数の医療機関とネットワークを形成（「大規模治験ネットワーク」）し、承認に必要な症例数を速やかに確保する体制を整備。また、当該ネットワークにおいては、これまでの製薬企業主導の治験に加え、いわゆる医師主導の治験を導入。
(平成15年度～平成17年度)

これまでの進捗状況

平成15年度予算に8.5億円を計上。

平成15年度予算概算要求時の総合科学技術会議による優先順位付けにおいてS評価。

治験の迅速化と質の向上を図るため、標記ネットワークの構築等をはじめとする「全国治験活性化3カ年計画」を策定・公表。

今後の課題・対応方針

初年度（平成15年度）においては、「がん」、「循環器疾患」、「小児医療」の3疾患群ごとにネットワークを構築。

10の疾患群のうち、初年度の3疾患群を除く7疾患群について、医療上のニーズ等を踏まえた選定等を実施。